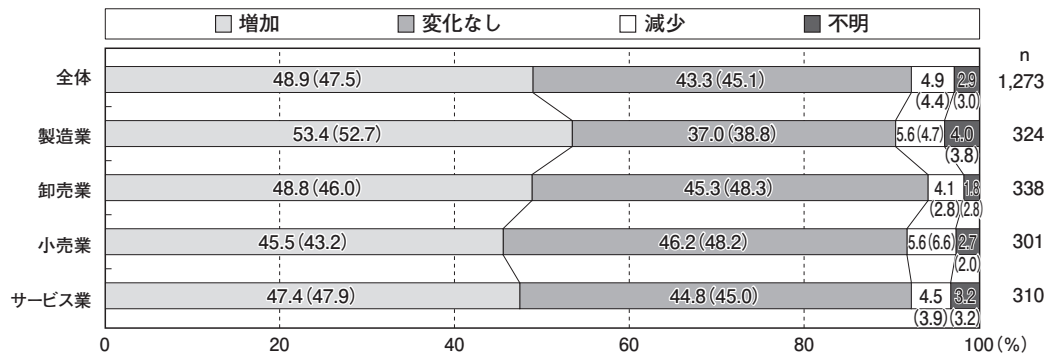


# 事業活動におけるコストの変動

## 1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）2月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が48.9%（前回調査47.5%）と最も高く、「変化なし」が43.3%（同45.1%）、「減少」が4.9%（同2.9%）の順で続いた。

図表2 コストの変化（前年同月比）



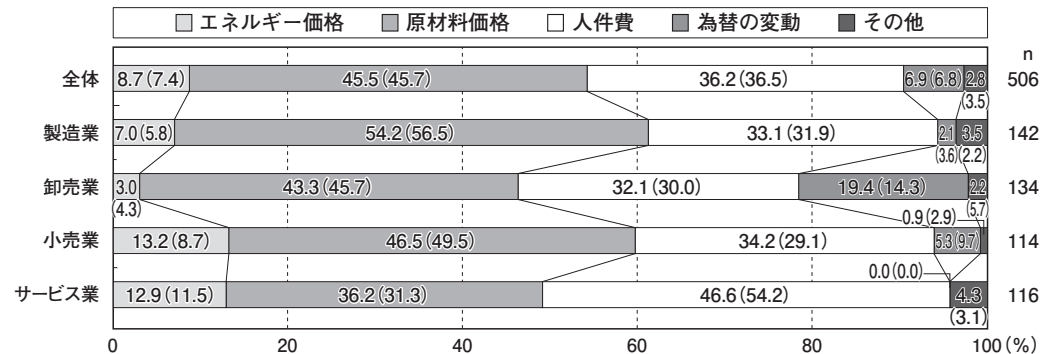
注) 無回答を除き集計。( )内は前回調査(令和8年2月)の数値。  
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が45.5%（前回調査45.7%）と最も高く、「人件費」が36.2%（同36.5%）、「エネルギー価格」が8.7%（同7.4%）、「為替の変動」が6.9%（同6.8%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の54.2%（同56.5%）、卸売業は「為替の変動」の19.4%（同14.3%）、小売業は「エネルギー価格」の13.2%（同8.7%）、サービス業は「人件費」の46.6%（同54.2%）がそれぞれ高い。

図表3 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）(図表2)で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。  
( )内は前回調査(令和8年2月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。